

# いのち 生命の力が輝く時 ～その4～

やりたいことがあるから変わろうとする子どもがいる。  
どうにかしたいから、今できることから始める子どもがいる。  
一方で、ひたすら眠り続けて壊れそうな自分を守る子どもがいる。  
今の自分を認める子どもは、必ず生命の力を発揮する…。

※プライバシー保護・紙面の都合等のため、修正・加筆しています。

ヒデ君（仮名）は、中学校2年生の時に不登校を始めました。きっかけは、クラスの女子の陰口です。教室で仲良しに見えていた人の陰口を言っているのを聞いて…。それから、人の目が怖くなりました。特に同じ世代の女の子のグループが苦手でした。自分の事を話しているわけではないとわかっていても、何か陰口を言われそうに感じたのかもかもしれません。

中学3年生になった時、ヒデ君と会いました。物静かな感じの青年でした。その時に、手品を教えたりして友だちになりました。「高校には行きたい」というヒデ君は、勉強をして高校進学をしました。

入学式に出席をしましたが、違和感を感じました。頑張って登校しましたが、結局辞めることにしました。それから、ゲームの毎日が続きました。「ヒデ君が高校を辞めたらしい」という噂が耳に入ったのは、高校を辞めて2年後のことです。少し迷いながらヒデ君に連絡をしました。

「もしもし、ヒデ君。加嶋です。お久しぶり。高校を辞めたって聞いたんだけど、どうしてる

…」  
「はい、辞めました。今、家にいます。」と静かな口調でハッキリと話してくれました。少しして、ヒデ君と会うことができました。公園で缶ジュースを飲みながらたわいのない話をしました。

その後、ヒデ君は相談機関に行くようにしたそうです。数年間のひきこもりの日々を過ごしているうちに「どうにかしたい」と思うようになったからだと思います。そこで紹介されたバイトにも挑戦しました。バイト先で、ちょっと苦手な人がいたので辞めることにしました。一般的には、「バイトをしても、続けることができない」と捉えがちですが、「辞めることができた」と理解するのが正しいと思います。

その相談機関に通ううちに様々な人と出会いました。木材でスプーンなどを作る人、ボランティアで砂浜の清掃をしている人、数学が得意な人…。数学が得意な人に勉強を習いながら高卒認定試験に挑戦することにしました。

1年前に始めたバイトを今も続けているヒデ

君です。そのヒデ君と、先日一緒に居酒屋に行きました。

加嶋は生ビール、ヒデ君は酎ハイで乾杯。まだ湯気があがる枝豆をつまんで聞いてみました。「ヒデ君、人の目が怖くて外を歩くことも大変だったのに、どうして今はそんなふうになんて平気になったの？」

「今も、まだ全部平気ではありません。」  
「車の免許も取ったし、電車だって乗れるし、ファミレスだって誰かと一緒なら大丈夫でしょ。それって変わったということだと思うけど。」

少し考えてから、ヒデ君が口を開きました。「自分が変わりたいと思ったからだと思います。」  
「なるほど。……でも、どうして変わりたいと思うようになったのかなあ。人の目が怖くて、道で女の子のグループとすれ違うのも大変だったよね。」

カシスオレンジ・カルアミルク・モスコミュールと飲みながらヒデ君が教えてくれたのは、二つのことでした。その一つが「人との出会い」です。まるで童話の「わらしべ長者」のように、その時々のお会いから、可能性が広がっていくのです。今続けているバイトだってボランティアで知り合った人の紹介で始めたことなのです。

もう一つが、ひきこもった時間の大切さでした。ヒデ君と話していて、彼のひきこもりは「自分を見つめる時間」であったと思います。最初は、どうすることもできないから家にいたのですが、次第に「このままじゃ嫌だ。これからどうしたいのか」を考えるようになりました。

外から見ていると、何も変わっていないように見えますが、ヒデ君の場合は、誰にも邪魔されずに自分と向きあう時間となりました。

次号は、親がひきこもりとどうつきあうかについて考えていこうと思います。

## 爽風館高校で

## 親の会を開いています

毎月第1水曜日の19:00～20:50

第2回 10月4日(水) 例会  
第3回 11月1日(水) 例会  
第4回 12月6日(水) 例会とミニ講演

<ミニ講演のテーマ>

### 「社会的自立とは何か」

大分県の事業で、「不登校を考える親の会」を爽風館高校・竹田市・中津市・日田市で開いています。

爽風館高校は、9月に第1回目を開きました。参加者は私を含めて5人でした。人数が少ない時は、少ない時でもとても良いお話ができます。その時は、高校生の子ども達の心(思い・考え)を聴くことについて深く話し合われました。

爽風館高校の親の会の特徴は、高校生の子ども達の親たちが集まるので、とても焦点の絞られた話ができるということです。それは、他にはない親の会です。子どもが爽風館高校に在籍している保護者の皆さん、ぜひご参加下さい。

子どもが爽風館高校に在籍している保護者しか参加できません。

寄付のお礼 三宮さん(佐伯市在住)より、ご寄付がありました。ありがとうございました。

おねがい

### 原稿をお寄せ下さい

●感想・体験 ●伝えたい情報  
●その他不登校に関すること  
<メール>toiawase@hoshinokai.net  
<FAX> 0972-24-3557

原稿は、FAXかメールでお寄せ下さい。掲載の際に匿名・インシヤルなど希望する場合は、そのことを書き添えて下さい。

### ご寄付のお願い

活動を継続・発展させていくために寄付や切手等の寄贈をお願いしています。力をかけて下さい。尚、寄付・寄贈していただいた方は会報で紹介させていただきます。

郵便振替

<口座記号番号> 01710-8-142651  
<加入者名> 不登校を考える星の会

### 11月の例会予定

○昼の大分例会…11月4日(土)13:00～16:30  
○別府例会…11月4日(土)19:00～21:00  
○豊後大野例会…11月2日(木)19:00～21:00  
○津久見例会…11月10日(金)19:30～22:00  
○夜の大分例会…11月17日(金)19:00～21:30  
○湯布院例会…11月23日(木)19:30～21:30

会報発送のボランティアを募集しています。協力していただける方は河野さんまで連絡をください。

### 会報発送作業

■10月26日(木)14:00～  
■ジョイフル米良店  
■お尋ねは河野さん  
(080-5272-9360)まで